

【質問3】中学校・公募外異動教員

※ 職層及び年齢は、赴任時のものです。また、各職層の養護教諭を含みます。

町村名	職層	性別	年齢	【質問】 島や島の学校の魅力はどんな点にあると感じていますか。また、島の学校に赴任して、感動したこと、学んだこと、嬉しかったことはありますか。	【質問】 島の学校の課題は、どんな点にあると感じていますか。また、島の学校に赴任して、苦勞したこと、残念に感じたことはありますか。
大島町	教諭	男	30代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年、子どもが生まれる予定ですが、保育園も空いていますし、海や山にすぐに行けますので、こちらで生活をしていこうかと思いました。また、校務でも各分掌の仕事は多いですが、空き時間は都内よりは多いので、少し余裕をもって行うことができます。</li> <li>・生徒の距離が近いです。そのため、卒業式は前任校よりも感動しました。さらに、都内の高校に行く生徒の見送りが島ならではの感じました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学校に教科の先生が一人だけという教科がほとんどなので、教科のことで相談できる場が少ないです。また、生徒は高校入試に向けての勉強に意欲が向かないことです。</li> <li>・部活動は、都大会には出場しやすいですが、都大会で勝つとなると、それなりのレベルの学校と練習試合をする必要があります。遠征になってしまうので、費用もかかります。また、秋の新人大会には島の行事などもあり、参加できませんので、夏の大会一度きりとなってしまいます。</li> <li>・また、研修も行きづらいです。一日で帰ることができない場合には、周りの先生方の負担が増えてしまうので、躊躇します。</li> </ul>
大島町	教諭	男	20代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数教育、生徒・家庭が近い。</li> <li>・理科教育の題材の多さと豊富さ</li> <li>・業務内容が個人に対して重くなるため、仕事に対して責任をしっかりと果たすことの重要性を学んだ。失敗したことに対して、島民は優しく受け入れ、叱咤激励してくれたことは、自分として嬉しかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年で異動する教員が多いため、施設(理科室など)の管理がほとんどできておらず、不十分さを感じる。教員それぞれの業務内容の偏りが大きい。</li> <li>・理科室準備がほとんどされておらず、予算も不十分で、興味・関心を高める実験が当初行えなかったのがとても残念だ。</li> </ul>
大島町	教諭	女	30代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節感を感じる。</li> <li>・島独自の文化がおもしろい。</li> <li>・地域行事と学校が連携している。</li> <li>・生徒がとても親しみが持てる。</li> <li>・少人数指導で手厚い。</li> <li>・町教育研究会が小・中同じなので、小学校の先生とも交流できて、とても良い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予算が少ない。</li> <li>・研修に行くのが大変だ。</li> <li>・教員の異動が多く、ひとつのことを継続するのが難しい。</li> <li>・教材購入時に送料がたくさんかかる。講演の講師招聘が困難だ。都内では揃っている教材が備品としてない。</li> </ul>
大島町	教諭		20代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然がたくさんあり、その土地で収穫できるものが多く楽しめた。</li> <li>・地域の方と連携した授業が実現しやすい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の予算が少ない。</li> </ul>
大島町	教諭	男	20代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・休日は、釣りや温泉など、島ならではの楽しみがある。同年代の教員が多く、仕事もプライベートも仲間と共に楽しく過ごすことができる。生徒が少ないため、1人1人にしっかりと向き合うことができる。</li> <li>・年度末、離任される先生が乗った船を見送る生徒たちの姿に感動した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・島内の高等学校が毎年定員割れし、実質全入であるため、進路の実現のための学習に意欲的でない生徒が多い。</li> <li>・学校行事に加え、島の行事にも参加せねばならず、生徒が多忙で、学習する時間も体力も残されていない。行事を縮小しようにも、島民の期待が強く、縮小できない。</li> </ul>

【質問3】中学校・公募外異動教員

※ 職層及び年齢は、赴任時のものです。また、各職層の養護教諭を含みます。

町村名	職層	性別	年齢	【質問】 島や島の学校の魅力はどんな点にあると感じていますか。また、島の学校に赴任して、感動したこと、学んだこと、嬉しかったことはありますか。	【質問】 島の学校の課題は、どんな点にあると感じていますか。また、島の学校に赴任して、苦勞したこと、残念に感じたことはありますか。
大島町	教諭	女	20代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・休日は、ダイビングや釣りなど島ならではのレジャーを楽しむことができる。</li> <li>・自然が多く、夕日、星空、花などに癒される。</li> <li>・渋滞がなく、勤務校も近いので通勤がとても楽である。</li> <li>・地域行事等で島内の小中学校の先生方と顔を合わせる機会が多いため、知り合いが増える。</li> <li>・地域の方と知り合いになりやすい。</li> <li>・小規模校であるため、生徒一人一人としっかりと関わりを持つことができる。</li> <li>・小中合同運動会で小学生と中学生の姿を見ることができ、成長を感じられる。</li> <li>・紙テープを使っでの異動者の見送り。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育行事が多く、運動が苦手な子供が輝ける場面が少ない。</li> <li>・人間関係に課題がある場合、狭いコミュニティ故に保育園、小学校時代からの関係が深くかかわっていることが多く、人間関係の修復が難しい。</li> </ul>
大島町	教諭	女	30代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然豊かで、景色がきれい。</li> <li>・大島の島民のあたたかさ。</li> <li>・生徒はのびのびと素直に育っている。</li> <li>・地域とのかかわりが深く、学校・家庭・地域の連携が密にできる。</li> <li>・気さくに声をかけてくれる島民のあたたかさに感動した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員数が少ないため、事務的な業務について一人一人の負担が大きい。</li> <li>・地域・伝統・文化に捉われすぎている。</li> <li>・進路指導。</li> <li>・地域とのかかわりが深く、行事等で心身ともに休むことができない時もある。</li> <li>・実技教科の週当たりの授業時数が少ない。</li> <li>・クラス数が少なく、担任を持つことのできる教員に限られる。</li> </ul>
大島町	教諭	女	30代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・島の人たちは優しい。親切にしてくれて、温かい。</li> <li>・教材研究に時間をかけられ、教材を作る時間も多々ある。</li> <li>・自分の力だけで解決できないことばかりだったが、それを助けてくれる人と環境に感動した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の学力が低い(私には原因はまだわからない)</li> <li>・小学校での学習指導や生活指導(礼儀や規律等)</li> </ul>
大島町	教諭	女	20代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもと時間をかけて心の繋がりがもてる。</li> <li>・部活動まで丁寧に見れる。</li> <li>・問題のある生徒がいても、たくさんの先生と協力して子どものために尽くせる。</li> <li>・満点の星空、海、自然、三原山がきれい。晴れた日は毎回夜空を見上げてしまいます。</li> <li>・島の方がとても親切。</li> <li>・不登校で転校してきた生徒がすごく他人の気持ちを考えられる子供に成長したことが嬉しかったです。今まで、子どもたちとこんなにたくさん話したり、悩みを共有したり、時間をかけれる経験がなかったので、2年かけて、心が大きく成長した様子を目の当たりにしたときは本当に嬉しかったです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事が多すぎる。時数のことも考えて、スリム化していかないと、子どもも大人も大変。道徳が教科化された今、改めて特別時程等の見直しから進めていかなければならないと思う。</li> <li>・逃げ場、リフレッシュする機会が少ないです。自分のメンタルのためにも週末は離島をお勧めします。</li> </ul>

【質問3】中学校・公募外異動教員

※ 職層及び年齢は、赴任時のものです。また、各職層の養護教諭を含みます。

町村名	職層	性別	年齢	【質問】	【質問】
大島町	教諭	女	30代	<p>島や島の学校の魅力はどんな点にあると感じていますか。また、島の学校に赴任して、感動したこと、学んだこと、嬉しかったことはありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の人たちと触れ合う機会が多いので、そういうことが好きな方にとってはとても魅力があると思います。(地域行事や合唱、スポーツなどの集まりもあるので)</li> <li>・自然も多いので、バウムクーヘン(地層切断面)やパームラインの夕日には感動しました。</li> <li>・島の学校の魅力は人数が少ない分、一人ひとりと深く関わることだと思います。また、小学校とも近いので、中学校3年間以上の年数で子供の成長が見られるのが楽しいです。</li> <li>・担任をしていて、初めて学級通信を書きました。通信は日ごろ子供が学校でどんなことをしているか、どんな話をしているかを中心に書くようにしているのですが、年間100枚の通信が出せたとき、それだけこの1年、クラスの子とどう関わってきたのか形になったようで、思い出としても残るものができました。通信を書くために子どもの様子をつぶさに見る癖がついた気がします。また、通信に書いたことで、子どもや保護者から返事があるのも嬉しいです。</li> </ul>	<p>島の学校の課題は、どんな点にあると感じていますか。また、島の学校に赴任して、苦勞したこと、残念に感じたことはありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校が全入に近いので、子どものやる気をどうアップさせるかが課題だと思います。また、学力差もあるので、指導が難しいことがあるかもしれません。(手をかけることは都内よりできます。)</li> <li>・必要なものがすぐに手に入らないこと(計画性の問題かもしれませんが)</li> <li>・都内と島の教育、考え方にずれがあるようなので、それをどうすり合わせていくかは苦勞すると思います。</li> </ul>
大島町	教諭	男	30代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然の豊かさ</li> <li>・敷地の広さ</li> <li>・みなさまがあたたかく接して下さること</li> <li>・景色や空気など、自然が豊かであること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過保護傾向にあることで子どもたちが自立できていない家庭があるように感じます。特に学習面では、自主・自立学習の習慣が確立しておらず、学習の定着に時間がかかりそうです。</li> <li>・クラス数が少ないことから、競争意識が薄いように感じます。その分、つながりが深く、仲もよいのはすばらしいことだと思います。</li> <li>・部活動では練習試合等の場数を踏むことが難しいと感じます。</li> </ul>
大島町	教諭	男	20代	<p>(島の魅力)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海に潜り魚を取って、ご飯のおかずにご飯にできること</li> <li>・毎日温泉に入ることができること</li> <li>・星がすごくきれいで、見てると癒されること</li> <li>・のんびりした空気を感じて、忙しさがなくなっていくこと</li> </ul> <p>(島の学校の魅力)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業研究がたくさんできること</li> <li>・個別対応が行いやすいこと</li> </ul> <p>(学んだこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・色々な考えをもった人がいるということ</li> <li>・少人数への授業での配慮について</li> </ul> <p>(感動したこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然の豊かさと雄大さ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員の入れ替わりが激しいこと</li> <li>・学校のシステムというよりも教員個人の考えだけで物事にあたることもあり、生徒にとっての指針がぶれてしまうことがあると感じること</li> <li>・行事が同じ時期に多いこと</li> <li>・複数の教員で何かを行う際に、確認を密にしておらず、認識がずれてしまい大きく遠回りしたこと</li> </ul>

【質問3】中学校・公募外異動教員

※ 職層及び年齢は、赴任時のものです。また、各職層の養護教諭を含みます。

町村名	職層	性別	年齢	【質問】 島や島の学校の魅力はどんな点にあると感じていますか。また、島の学校に赴任して、感動したこと、学んだこと、嬉しかったことはありますか。	【質問】 島の学校の課題は、どんな点にあると感じていますか。また、島の学校に赴任して、苦労したこと、残念に感じたことはありますか。
大島町	教諭	女	20代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雄大な海、夕焼け・星空のきれいさなど自然の豊かさに、感動することが多くあります。</li> <li>・子どもたちと同じ地域に住むことで、本当に近い存在になることができます。</li> <li>・保護者、地域の方々には、日常的に声をかけていただいたり、温かい心遣いをいただいたり、感謝しています。</li> <li>・子ども、保護者と近い存在に慣れるからこそ、家庭との連携をどのように強めていくか学ぶことができています。</li> <li>・不便だからこそ、自分でどうにかできないだろうか工夫をしてみるようになりました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関の中に、保護者・親戚の方が働いていることがあり、情報共有や適切な支援と、個人情報の保護を両立させることの難しさを感じています。</li> <li>・医療機関については、不便さと大きなケガがあったときの不安を感じています。地区的に、受診時には、車で20分程度かかります。子どものケガや体調不良で、何かあったときの不安があります。</li> <li>・都内への出張回数が決まっていること、船や宿泊を伴うため出張に出づらいうことを、残念に感じています。養護教諭としてのスキルアップを考え、専門的知識を学びたいと思っていますが、学校の出張旅費が決まっているため、一人当たり何回までと決まっているのが、残念です。</li> <li>また、出張に伴って学校を留守にする期間が長くなるため、学校行事や学校事情を考えると、出張に出づらい日が多くなり、結果、行きたい出張をあきらめることも多くなってしまふことも残念です。</li> </ul>
大島町	教諭	女	30代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生がよく泳ぐ。海や自然の中でたくましく育っている。</li> <li>・地域で子どもを育てている。</li> <li>・島になじみたい気持ちがあれば、受け入れてくれる。(お祭りや町の行事など何でも。)</li> <li>・子育てには最高の環境。保育士さんも学校の先生も地域の人みんな家族で知り合い。夫婦で教員をしていて、子どもが熱を出すと、時間割を操作して、時間で夫婦交代して看休を取ったりできる。子どもの保育園や学校行事も時間休で参加してあげられる。</li> <li>・単学級のため、小学校は担任の先生のカラーが濃い。逆に、中学校は担任を筆頭に学年団で単学級の運営に当たるので、チームワークが必要とされる。</li> <li>・中学生がよく泳ぐ。地域の中で育っている。</li> <li>・地域の人が学校の先生を助けてくれる。(家庭科の食材購入など、地域のプロに頼れる。)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の数が少ないので、年齢的な部分などでバランスがとれていないと感じる年度もあります。</li> <li>・部活動が少ない。生徒も少ないので、チームとして成り立たせるために、新規の部や同好会を立ち上げることは考えられない。</li> <li>・プライベートを非公開にしたい先生は、車で見分けられたり、いつどこに誰といたかがすぐにばれてしまうこの環境はつらいのかなと思います。</li> </ul>

【質問3】中学校・公募外異動教員

※ 職層及び年齢は、赴任時のものです。また、各職層の養護教諭を含みます。

町村名	職層	性別	年齢	【質問】 島や島の学校の魅力はどんな点にあると感じていますか。また、島の学校に赴任して、感動したこと、学んだこと、嬉しかったことはありますか。	【質問】 島の学校の課題は、どんな点にあると感じていますか。また、島の学校に赴任して、苦労したこと、残念に感じたことはありますか。
利島村	教諭	男	20代	<p>・地域の方々で作上げる運動会、文化祭を始め、小さな行事や取組も含め、文字通り「地域に根差した教育活動」が実践できるたのしさやよこびがあります。保護者との距離が良い意味で近く、村や学校が一つの家族のような雰囲気があるので、子供たちのことを自分事として捉えて一層熱心に教育活動にあたることができると感じています。</p> <p>・一人ひとりの子供の人生に、ダイレクトに向き合いながら日々の教育実践をおこなっていくことを通して、教育の原点というのはこういうものだ、と感じることがあります。一人ひとりの子どもとの付き合いがとても濃いことから、子供にとっての影響力も大きく、教師として、一人の人間として、一人の子どもの前に立つ意味をこれまで以上に重く受け止めるようになりました。</p> <p>・小規模校であるため、一人一人の教員に与えられる仕事の責任が大きい上に、小規模校であるため、スピード感をもって物事を進めていったり新しいことを始めたりすることができ、アイデアを活かしているいろいろな取組を進めていくことができると感じています。</p> <p>・飲食店がない、という環境から自分で料理をすることを余儀なくされ、料理の腕も上がり、幅も広がりました。ネットなどもうまく利用すれば、だいたいのもは手に入るの、工夫を凝らした料理を楽しんでは、舌鼓を打って自己満足しています。宅飲みが当たり前なので、自分が作った料理を同僚に振る舞い、おいしいと言ってくれることもうれしいです。</p> <p>・これまで経験したことのない新しい生活スタイルを通して、新たな生き方を知りました。子ども達によりよく生きることを説く教員にとってこのことの意味は大きかったと思います。</p> <p>・塾がない島の環境の中では、子供の学習面における中核的な役割をになっているのが学校であり、そのことによる使命感や、やる気はこれまで以上に高まりました。実際に責任も多く担っている訳で、そのことによって自己研鑽の意識はとて高まりました。</p>	<p>・大人数に対する授業、生活指導等の機会がない点については、特に初任者にとって、厳しい環境であると思います。</p> <p>・生徒の人数が少ないことから競争心が低く、上昇志向に欠けるところがあると感じます。ライバルの存在が学習意欲を高める要素であることは少なからずあると思いますので、授業の中でいかにモチベーションを高めていくか、が指導上の大きな課題となっています。</p> <p>・あらゆる場面で島の特殊事情や独特の文化と触れ合ったり、時に摩擦が生じたりすることがありますが、その特性から、「島事情」という言葉を使い、通常なされるべき業務がなされなかつたり、改善すべきことがそのままにされていたりすることがあります。また一方で、島事情を考慮すべきときでも「内地の学校では」という言葉で島事情への配慮がなされなかつたりすることもあり、「島事情」が恣意的に利用されることがあり、その度に苦労しています。</p>
利島村	教諭	男	30代	<p>・自然が豊かであること。きれいな空気の中で生活できること。</p> <p>・上級生と下級生の関係が良く、上級生が下級生の世話をする雰囲気や行動が自然とみられること。</p> <p>・少人数授業によって、児童・生徒とやりとりをしながら授業を進めたり、分からないところに焦点をあてたりしながら、学習指導ができること。</p> <p>・清掃なども自分たちで行うため、学校現場で働くあらゆる人の気持ちを察することができるようになること。また、児童・生徒もいろいろな経験を積むことができること。</p> <p>・島の学校は教員の出入りが多いため、次年度の計画を前年度のうちにしっかり検討しておく必要があること。</p> <p>・教員同士の助け合いが頻繁に行われていること。</p>	<p>・少人数の学年が多いため、競わせたり話し合ったりする学習活動などに工夫が必要である点。</p> <p>・教員も児童・生徒も、学校とプライベートの境目が曖昧である点。</p> <p>・屋外に出るとほぼ誰かに会うので、一人で気張らしをすることが難しいこと。</p> <p>・学校以外の知り合いと簡単に会えないこと。</p>

【質問3】中学校・公募外異動教員

※ 職層及び年齢は、赴任時のものです。また、各職層の養護教諭を含みます。

町村名	職層	性別	年齢	【質問】 島や島の学校の魅力はどんな点にあると感じていますか。また、島の学校に赴任して、感動したこと、学んだこと、嬉しかったことはありますか。	【質問】 島の学校の課題は、どんな点にあると感じていますか。また、島の学校に赴任して、苦労したこと、残念に感じたことはありますか。
利島村	教諭	男	20代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・四島柔剣道大会など、地域の方々と学校とが協力し合って、子どものために…という取組があり、島ならではの魅力だと感じる。&lt;※ 四島大会(柔剣道大会・体育大会)は、利島、新島、式根島、神津島の中学生が競い合う大会です。&gt;</li> <li>・教職員住宅が学校から近いので、通勤時間も短縮され、自分の時間が多くもてる。自身のスキルアップ(教材研究や自習)や趣味の時間を確保できる。</li> <li>・宮塚山と太平洋に囲まれて、仕事ができる。キジやヘビ、トカゲ?、明日葉、椿といった動植物と共生し、新たな発見ができる。</li> <li>・小学生と中学生が同じ空間で生活し、委員会活動などの場面で、利島小・中学校をより良くしようと話し合っている様子がみられた。入学式などの行事を、児童生徒・地域の方々・教職員が一丸となって創りあげていることに感動した。</li> <li>・小学校の算数の授業を進める中で、児童の反応がとても新鮮であった。中学生になると、「間違えていると恥ずかしい」とか「発言しなくても別にいいや」という気持ちから、挙手が少なくなるが、小学生は積極的に発言し、主体的な学びとなることが多くある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数学級であるので、人とのコミュニケーションの機会が必然的に少なくなる。多様な考え方に触れられるように、工夫する必要がある。</li> <li>・きめ細やかな指導ができる反面、必要以上に声がけをしてしまいがちである。自力解決の時間を確保することを意識する必要がある。</li> <li>・保護者が職員室にいるので、学年で話し合いながら慎重に対応を進めていく必要がある。</li> </ul>
利島村	教諭	男	50代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の時間が持てる。プライベートでも校務でも・・・</li> <li>・お金を使わない。</li> <li>・小中併設校なので小学校の図工や小学校の文化を知ることができました。</li> <li>・通勤時間がほぼ無い。</li> <li>・星がとてもきれい、夜空を見上げる心の余裕がうまれます。</li> <li>・島出身の子は少ないけど、児童・生徒は皆純朴、父兄も協力的</li> <li>・島民はほとんど顔なじみ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・互いに競わない。</li> <li>・教育上必要な最低限の集団が維持できない。</li> <li>・困難に接する機会が少なく、困難への耐性に乏しい。</li> <li>・島によっては高校が無いので15の春を迎えると、家庭により内地で自立しなければならぬ。</li> <li>・(苦労したこと、残念なことについては)人間関係が教員集団に限定されがち・・・それ以外私は特にない。</li> </ul>

【質問3】中学校・公募外異動教員

※ 職層及び年齢は、赴任時のものです。また、各職層の養護教諭を含みます。

町村名	職層	性別	年齢	【質問】 島や島の学校の魅力はどんな点にあると感じていますか。また、島の学校に赴任して、感動したこと、学んだこと、嬉しかったことはありますか。	【質問】 島の学校の課題は、どんな点にあると感じていますか。また、島の学校に赴任して、苦労したこと、残念に感じたことはありますか。
新島村	教諭	女	20代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大自然に囲まれている。環境の良さ。空気がおいしい。</li> <li>・温泉に行き放題。気軽にキャンプができる。</li> <li>・生徒数が少ない分、大規模校ではできないことに挑戦しやすい。</li> <li>・授業を3学年分捉えるために、学習の3年間の流れが捉えやすい。その分授業準備が大変。</li> <li>・子ども達が素直で純粋。</li> <li>・先生方が仲良く、家族のような付き合いをする。</li> <li>・年休が使いやすい。</li> <li>・若い先生が多いので、ややのびのび仕事をしてしまう。</li> <li>・生徒との出会いと別れが感動的。</li> <li>・全体的にカツカツしていない。ゆったりしている。心が穏やかでいられる。</li> <li>・生活指導で夜遅くまで残る、保護者を呼んでの指導などはほとんどない。</li> <li>・空き時間がやや増えた。</li> <li>・ゆとりがあるため、内地のところに比べれば、早く家に帰り、食事を自炊することが増えた。自分と向き合う時間がとれる。</li> <li>・通勤が楽。徒歩3分。・終電を気にせずに宴会ができる。</li> <li>・海に入り放題。</li> </ul> <p>・子どもたちとの心の交流は内地と同様あり、感動することがいくつもあった。が、内地と違うのは、彼らは生まれたときからずっと兄弟のように共に過ごしているということ。こちらが想像できない心のつながりをもっている。当たり前の優しさに胸を打たれたことが何度もあった。</p> <p>・内地では子ども達一人一人に目を向けることができないが、ここでは一人残らず気にかけてくれる。子どもの人数に対して大人の数が多く、手厚く見守ることができる。本来の教育もこうあるべきだと学んだ。</p> <p>・生徒のために何が出来るか、どうすれば生徒にとって良いのかということに対して、時間も手間もかけられるし、本来はこの目線が大事なのだと学んだ。丁寧に接していくことが大事だと感じた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若い人(教員)が多い。特に2校目という人が多く、仕事で抜けてしまうところがある。相談できる人が限られる。若手教員への指導の手が行き届きにくい？</li> <li>・地域行事が多く、負担も大きい。</li> <li>・地域の影響が強い。地域の要望に応えないといけない感じが強い。</li> <li>・内地への発信が足りない。</li> </ul> <p>・やはり、内地との行き来は簡単ではない。何ヶ月も前から予約していた病院も船や飛行機の欠航で行けないこともあった。また、気軽に内地の行きつけの病院やお店に行けない。家族とも滅多に会えない。家庭をもつ先生が大変そう。また、家を建てたばかり、車を買ったばかり、結婚したばかり、お子さんが生まれたばかりという人が赴任してくると、胸が痛む。</p> <p>・若い先生がのびのびしているのはとても良いことなのですが、自分も含め、ゆるい感じがある。謙虚な姿勢を失いやすい？</p> <p>・狭いコミュニティでの生活なので、先生同士は昼間は仕事で一緒に夜はホームパーティーで一緒に、ずっと一緒にいるのが、最初は慣れず、疲れてしまった。</p> <p>・島しょ研修会で研究授業を行った際、来て下さった指導主事の先生の専門の教科が自分の専門と違い、研究授業のアドバイスが専門的なものを期待していたため、残念に感じてしまった。</p> <p>・道場の出張で離島しようとしたが、天候悪化で行けないかも知れないと思い、連絡したら、「天候悪化まで予測して予定を組まないのが悪い」と言われたが、授業数も多く、担任もしている人だと簡単に2、3日前からは離島しづらい。</p>
新島村	教諭	男	30代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出勤前に、サーフィンや温泉などで体を動かすことができる。</li> <li>・満天の星空</li> <li>・夜遅くまで、店がやっていないため、とても健康的。</li> <li>・人数が少ないため、自由な発想で行事に取り組むことができる。</li> <li>・キャンプが楽しい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・優しさはあるが、たくましさに欠ける。少数であるため、何かと与えられてきた印象がある。自ら、逆境や壁に立ち向かっていく経験や、そういった場面がとても少ない。意図的に厳しい経験をさせる場や時間を作り出していくことが必要。</li> <li>・大自然の中、運動が大好きで健康的に過ごしているものだと思っていたが、運動が苦手な生徒が多い。車での送り迎えやゲーム機器などの影響か、肥満傾向の生徒が多い。</li> </ul> <p>・クラスが単クラスであるため、クラス対抗で競うことがないこと。</p> <p>・ネット通信がかなり遅い。 &lt;※ 東京都では、現在、島しょ5村6島で、海底光ファイバーケーブル敷設整備によるインターネット環境改善事業が進められています。新島でも、平成30年夏頃にサービス開始となる予定です。&gt;</p>

【質問3】中学校・公募外異動教員

※ 職層及び年齢は、赴任時のものです。また、各職層の養護教諭を含みます。

町村名	職層	性別	年齢	【質問】 島や島の学校の魅力はどんな点にあると感じていますか。また、島の学校に赴任して、感動したこと、学んだこと、嬉しかったことはありますか。	【質問】 島の学校の課題は、どんな点にあると感じていますか。また、島の学校に赴任して、苦労したこと、残念に感じたことはありますか。
新島村	教諭	男	30代	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちが素直</li> <li>少人数なので、一人一人と向き合える。</li> <li>自然豊か。海や温泉などで余暇を楽しめる。</li> <li>体を動かす機会が多く、運動を楽しめる。</li> <li>全校生徒と関われる。全員のフルネームが覚えられる。</li> </ul> <p>これまであまり関わる機会のなかった、保育園、小学校、高校の先生方との連携ができた。</p> <p>特別支援学級の立ち上げに関わることができた。大変だったが、島ならではの地域資源も多くあり、多くの人と連携することで結果的に内地ではできない理想的な特別支援学級のかたちをつくることができたと思う。</p> <p>日の出、日の入り、青い海、雄大な景色、星空etc。どれをとっても自然が豊かで美しい。</p>	<p>島の学校の課題は、どんな点にあると感じていますか。また、島の学校に赴任して、苦労したこと、残念に感じたことはありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教職員が短期間で異動するので、行事や校務分掌のノウハウや引継ぎがうまくいかず、その都度、担当者が苦労することがある。一方、学校によっては、長年いる教職員がいると細かいアドバイスがもらえて助かる面があるが、これまでの流れを周到しがちで、様々なことを柔軟に変えていきづらいという話も聞く。</li> <li>生徒の学力が全体的に低め。島内の高校は定員割れしているため、入試に向けた雰囲気作りがしづらい。</li> <li>特別支援学級に通う生徒たちの進路先が難しい。</li> <li>天候により、出張に行けなくなったり、島に帰ってこられないことがある。</li> </ul>
新島村	教諭	男	50代	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の時間が多く持てること</li> <li>すぐに実行することの大切さ、何かした時の他人のうれしい顔を見た時のうれしさ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>早く自立できる子を育てること</li> </ul>
新島村	教諭	男	20代	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人一人をしっかり見れるところ</li> <li>前任校と比べ、仕事量が減ったため、家族との時間を持てるようになったこと</li> <li>地域の方々や教育や島の課題について一緒にとりくめるところ</li> </ul> <p>自分に生き方にしっかり向き合うことができるようになった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>競争がないので、向上心を育てにくい。</li> <li>授業でのグループ活動等が難しい。</li> </ul>
新島村	教諭	女	20代	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然豊かで、親切な方が多い。</li> <li>全学年授業を行っているため、卒業式にはとても感動しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>少人数で向上心をもたせること</li> </ul>
新島村	主任	男	30代	<ul style="list-style-type: none"> <li>子供たちが素直で優しく、大きな生活指導がほとんどない。</li> <li>子供たち一人ひとりよく見えるので、課題がよく見え、自分にも余裕があるので、色々な対応を考えられる。</li> </ul> <p>子供の様子と共に家庭環境が良く見えるので、今まで見えなかった課題も見えてきた。</p> <p>子供たちの横のつながりと同じくらい縦のつながりが強く、年下の子の面倒見がすごく良い。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中学校に上がった段階で、身に付けているべき学力(漢字の読み書きや四則の計算など)が身に付いていない子の割合が多く感じる。</li> <li>自分での学習の進め方、適切な分量をわからないまま中学生になって、勉強に苦労している。</li> </ul>
新島村	教諭	女	20代	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもを丁寧に見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(生徒の)人数が少なく、多くの中で経験する葛藤や精神的な成長の機会が少ない。</li> <li>教育に対する関心が高いとは言えない。</li> <li>生徒との距離が近く、指導にも地域・保護者が近くやりづらい。</li> </ul>

【質問3】中学校・公募外異動教員

※ 職層及び年齢は、赴任時のものです。また、各職層の養護教諭を含みます。

町村名	職層	性別	年齢	【質問】 島や島の学校の魅力はどんな点にあると感じていますか。また、島の学校に赴任して、感動したこと、学んだこと、嬉しかったことはありますか。	【質問】 島の学校の課題は、どんな点にあると感じていますか。また、島の学校に赴任して、苦労したこと、残念に感じたことはありますか。
神津島村	教諭	男	30代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エメラルドグリーンの海の色、透明感は本当に美しい。</li> <li>・生徒は素直で純粋な生徒が多く、教える側として改めて学ぶことが多い。</li> <li>・その人の代わりはどこにもいないという、一人一人の存在を大切にする教育活動、意識。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒数に対しての教員の数が多く、教員間の打ち合わせが多い。</li> <li>・教員間のコミュニケーション。生徒より教員と接する機会の方が多いいこと。</li> </ul>
	教諭		20代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数指導のため、校務分掌などの担当が増え、様々なことを(年齢のわりに)経験させてもらえる。</li> <li>・地域の方との関わりが増えるため、郷土の芸能などを学び、授業に取り入れようとする事ができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員数が少ないので、一人一人の負担が大きく、バランスが取れていないと感じること</li> </ul>
	教諭		20代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海、景色がきれい、時間の流れがゆっくり</li> <li>・自分の時間がたくさんあるので、島でもできる趣味や勉強などに時間を使える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供の学習に対する意欲 都内では、たくさんの子供がいて、見本になる子が色々な場面でたくさんいるが、島は少人数で比較的对象が少ないので、競争意欲がない。</li> <li>・先生たちも、時間がゆっくり流れている。</li> </ul>